



2022年3月14日

各位

会社名 株式会社三井ハイテック
代表者名 代表取締役社長 三井 康誠
(コード番号 6966 東証第1部・福証)
問合せ先 常務取締役管理本部長 三井 宏蔵
(TEL 093-614-1111)

新中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2023年1月期を初年度とする3ヵ年の中期経営計画を新たに策定し、決議いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

1. 新中期経営計画策定の背景

足元の状況と中長期的な事業環境を踏まえ、2019年1月に策定した中長期計画(2024年1月期目標:売上高1,500億円、営業利益率5%)の見直しを行うことといたしました。

新中期経営計画では、**拡大と安定を両立させた事業成長を実現**すべく、長期的視点で経営を推し進め、持続可能な社会の実現と新たな価値の創造に貢献してまいります。

2. 新中期経営計画の期間

2023年1月期～2025年1月期の3ヵ年

3. 新中期経営計画の方針

- ①超精密加工技術を核とした事業推進
- ②省資源・省エネ貢献製品の供給拡大
- ③顧客ニーズに応えるグローバル供給体制推進

4. 財務目標

【売上高、営業利益目標】

(百万円)

	2022/1 実績	2025/1 目標	2022/1 比増減率
売上高	139,429	230,000	+65.0%
営業利益	14,959	30,000	+100.5%
売上高営業利益率	10.7%	13.0%	+2.3pts

【3ヵ年設備投資総額】

680億円

- ①世界4極の顧客需要動向に応じた生産能力向上を図る
- ②今後の大きな成長分野である電機部品事業と電子部品事業を中心に投資を継続

5. 株主還元方針

事業成長に向けた投資の拡大と増配の2つを総合的に勘案し、新中期経営計画の3ヵ年では、資本に対する配当の継続的安定性を測定できるDOE(株主資本配当率)を採用し、3.0%以上を目安といたします。

以上

超精密加工でしあわせな未来を

2022年3月14日



株式会社三井ハイテック（証券コード：6966）

新中期経営計画



超精密加工でしあわせな未来を

次の成長に向けて

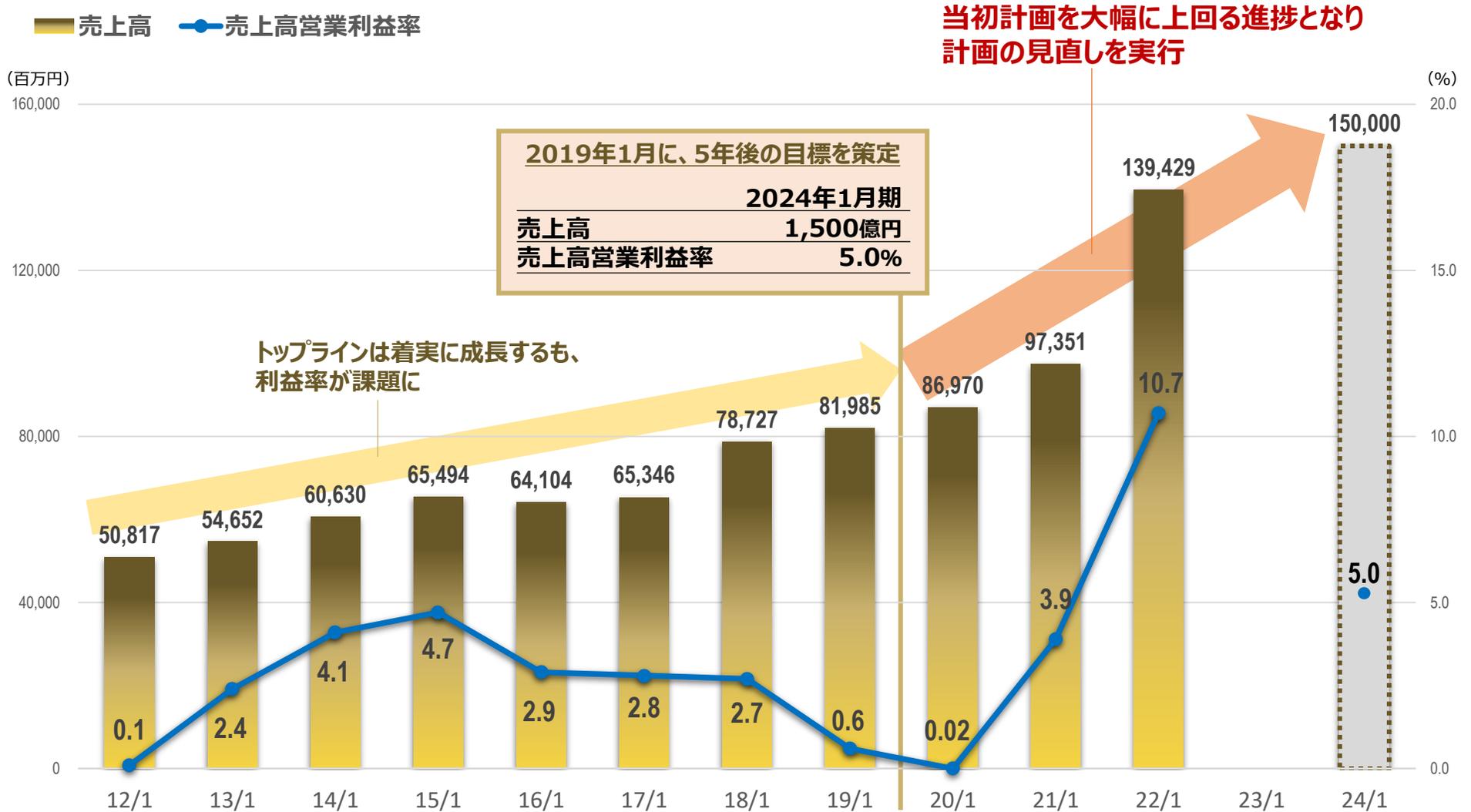
この度、足元の状況と中長期的なメガトレンドを踏まえ、2019年1月に策定した中長期計画の見直しを行うこととし、2023年1月期を初年度とする3か年の新たな中期経営計画を策定いたしました。

新中期経営計画では、拡大と安定を両立させた事業成長を実現するべく、長期的視点で経営を行い、持続可能な社会の実現と新たな価値の創造に貢献してまいります。



新中期経営計画策定までの軌跡

これまでの振り返り



自動車の電動化の加速、旺盛な半導体需要の進展等を背景に、業績が急拡大

(百万円)

	2021/1	2022/1	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	97,351	139,429	+ 42,078	43.2%
営業利益	3,790	14,959	+ 11,169	294.7%
経常利益	3,907	15,672	+ 11,764	301.1%
営業利益率	3.9%	10.7%	+ 6.8pts	

- ▶【電機部品事業】 拡大する電動車向け駆動・発電用モーターコアの需要に対応
- ▶【電子部品事業】 車載向けを始めとした半導体の好調な需要に対応
- ▶【金型事業】 車載用モーターコア金型の需要に対応
- ▶【工作機械事業】 徐々に平面研削盤市場の回復が見られるなか、当事業は低調に推移

カーボンニュートラル社会の実現へ

- 温暖化対応は、経済成長の制約・コストから、成長機会の時代へと変容
- 新たな技術の開発と市場開拓のために、企業と政策が一体になった取組み・挑戦がグローバルで加速

情報化社会から 情報が高次元に進化する時代へ

- 半導体を使用するデバイス、アプリケーションの拡大
5G、IoT、ビッグデータ、AI、クラウド、ブロックチェーン、エッジコンピューティング、メタバース、自動運転等
- 仮想空間との融合に向けた高度デジタルインフラ構築

グローバルでの2大トレンドに、当社重点2事業の主要ターゲット2分野が関係

長期的な急成長分野

自動車業界

長期見通し

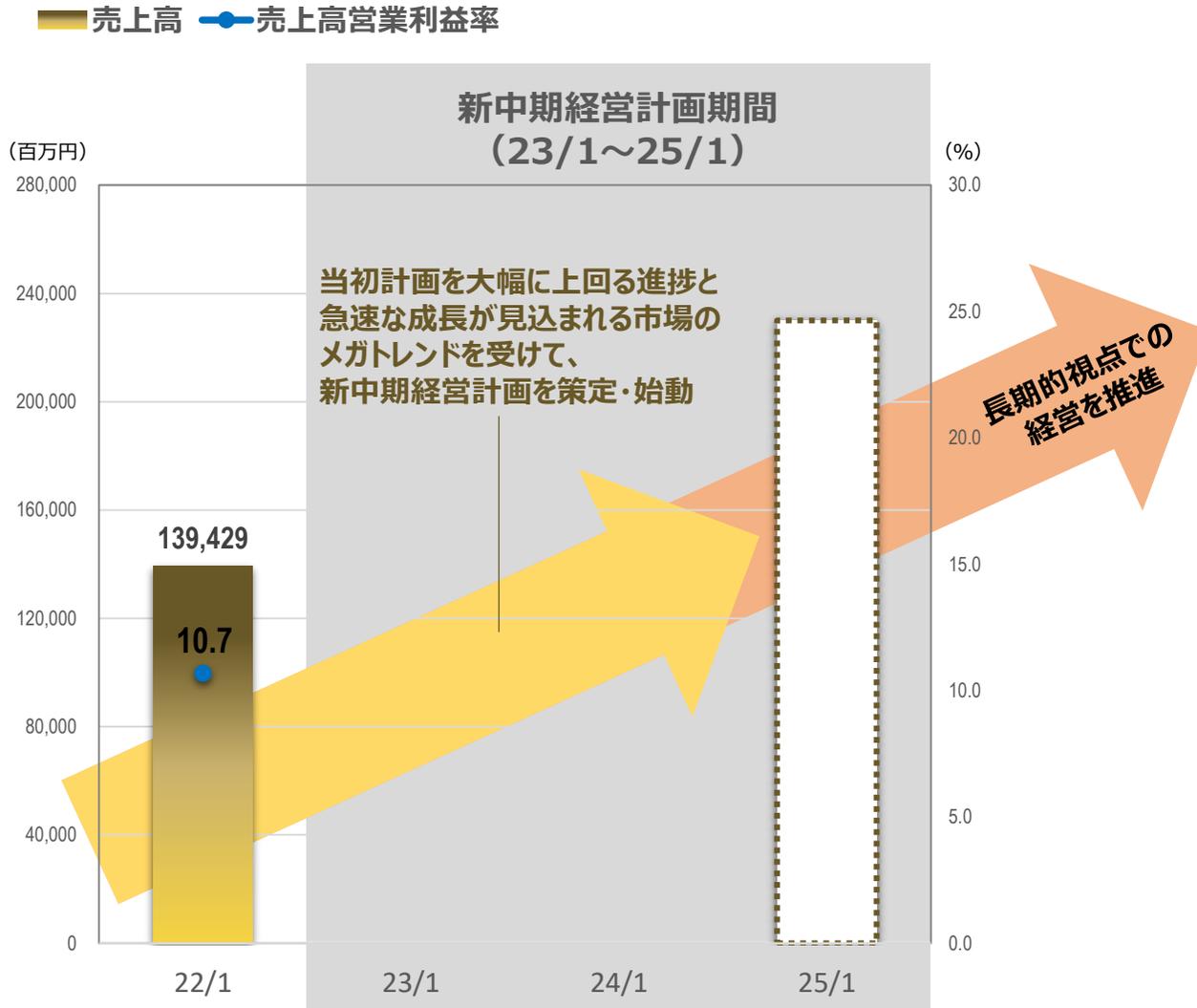
脱ガソリン車に向けて、異業種参入も加えながらHV・EV開発投資が急速に拡大

半導体業界

長期見通し

絶え間ない技術革新により、あらゆる社会・産業において旺盛な半導体需要が長期的に持続

新中期経営計画の策定



**超精密加工で
しあわせな未来を**

目指す姿

超精密加工技術を核
とした事業推進

省資源・省エネ貢献製品の
供給拡大

顧客ニーズに応える
グローバル供給体制推進



新中期経営計画の概要

【経営理念】

- ✓ 世界の人々に役立つ製品をつくる
- ✓ 互恵互善の理念に徹し相互の利益をはかる
- ✓ 平等の精神を基本とし働く者の楽園を築く

【スローガン】

超精密加工で**しあわせな未来**を

開発型ものづくり企業として超精密加工技術を武器に世の中のニーズにマッチした価値をグローバルに供給することで、省資源・省エネルギーに貢献し、もっと便利に、もっと豊かに、安心して暮らせる「しあわせな未来」を実現します。

1

超精密加工技術を核とした事業推進

2

省資源・省エネ貢献製品の供給拡大

3

顧客ニーズに応えるグローバル供給体制推進

【方針 1】超精密加工技術を核とした事業推進

超精密加工技術を核として、
高品質な製品の安定供給を実現し、
顧客や社会が求める価値を提供する。

顧客や社会が
求める価値を提供

高品質・
安定供給

超精密
加工技術



【方針 2】 省資源・省エネ貢献製品の供給拡大

超精密加工技術をベースに、脱炭素を代表とする省資源・省エネルギーに貢献し、顧客ニーズに応える製品の供給拡大を図る。

～ さらに製造工程においても、省資源・省エネを実現するため、部材の使用量削減に向けた改善と技術開発などを継続的に推進してまいります。

超精密加工技術

一貫生産体制
(金型製作～製品供給)

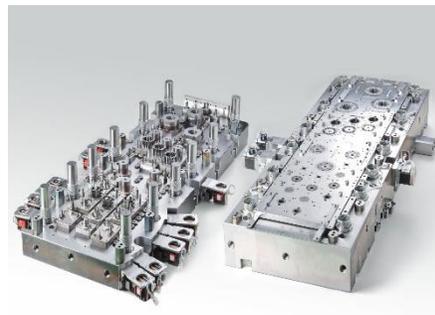
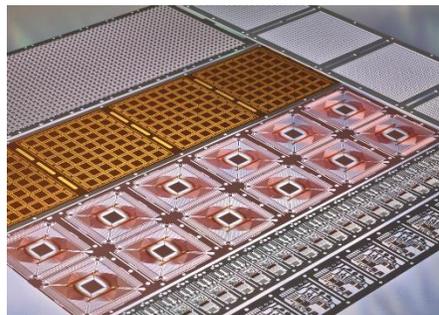
強みを活かした
製品・サービス
提供

省資源・省エネ貢献製品・部品

生産性向上・
生産能力増強

供給拡大

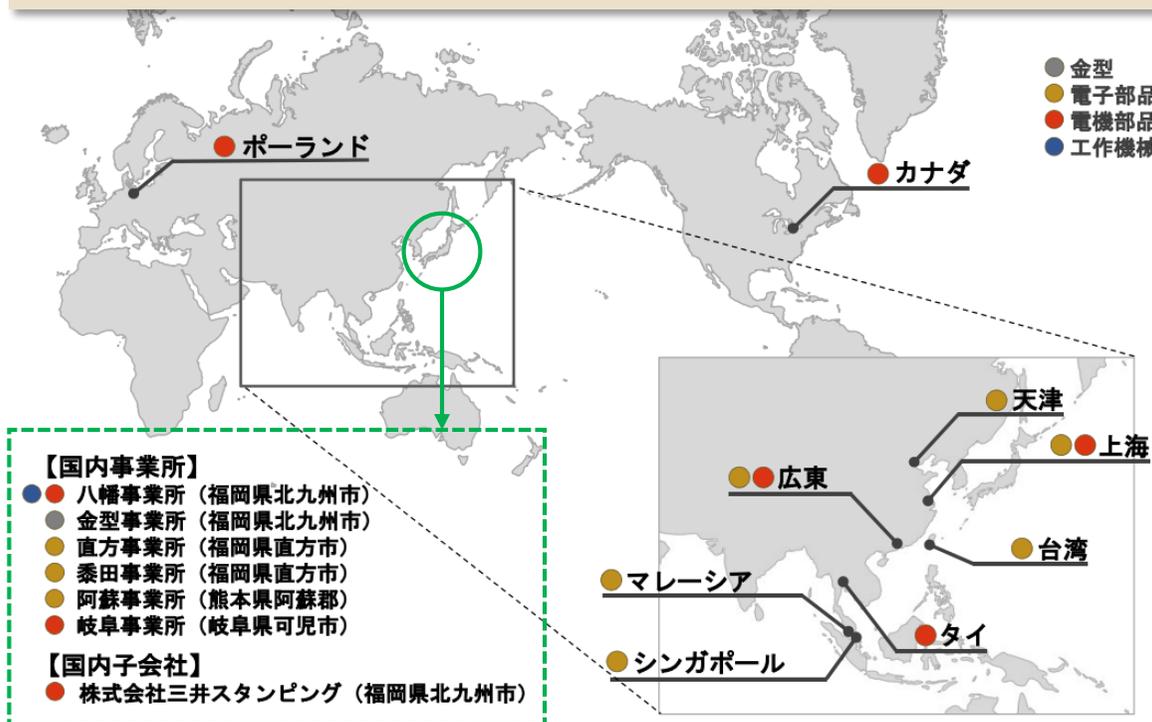
■ 製品・部品の事例



【方針 3】顧客ニーズに応えるグローバル供給体制推進

自動車業界や半導体業界など、グローバル企業のニーズに迅速かつ的確に対応するために、当社グループのグローバル供給体制の強化を推し進める。

生産拠点は、世界16拠点（海外9 + 国内7）



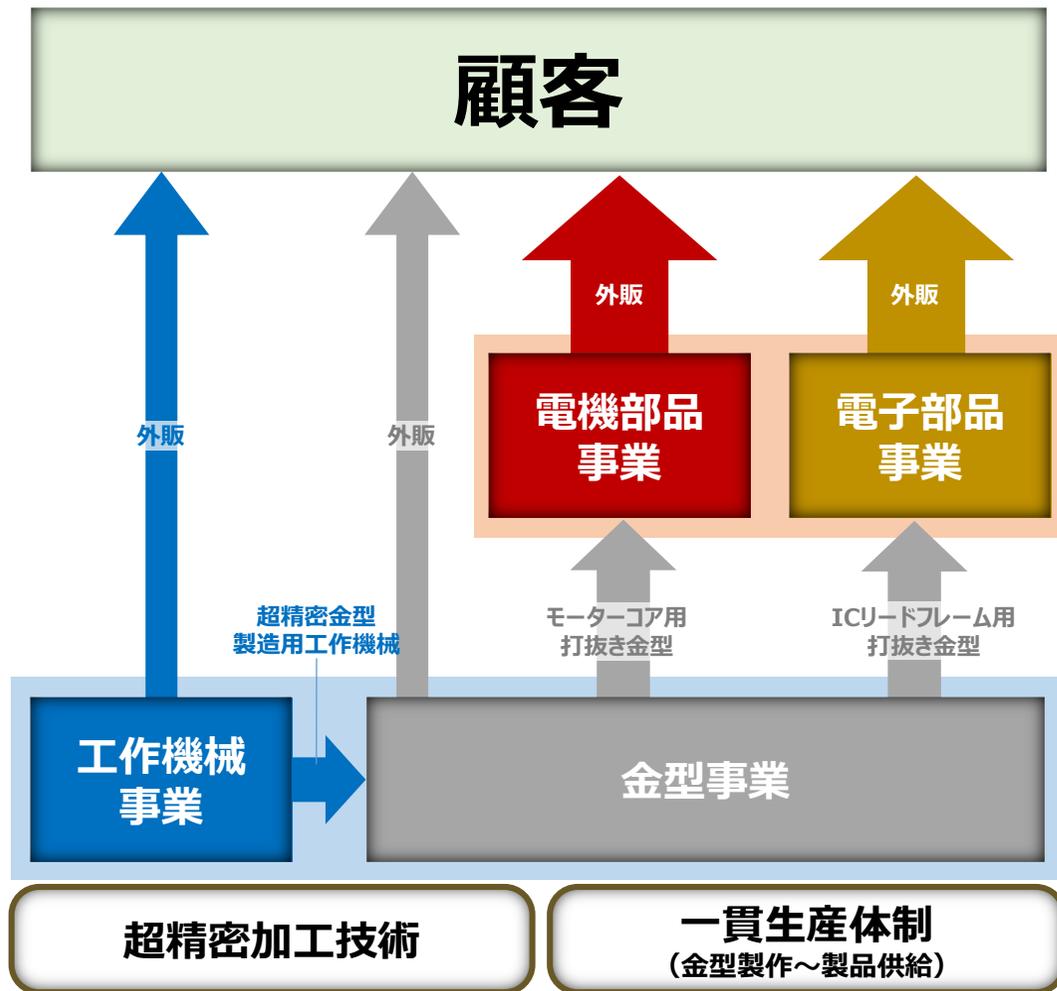
電機部品事業

4極体制（日本・中国・北米・欧州）による安定供給で顧客ニーズに対応

電子部品事業

グローバル拠点を活かし、最適地生産で顧客ニーズに対応

■ 当社グループの事業ポートフォリオと事業の位置づけ



【電機部品事業と電子部品事業の位置づけ】

重点事業

当面の事業運営では、電子部品・電機部品2事業の成長性と収益性の最大化を推進

電機部品事業 = 拡大成長事業

電子部品事業 = 安定成長事業

【金型事業と工作機械事業の位置づけ】

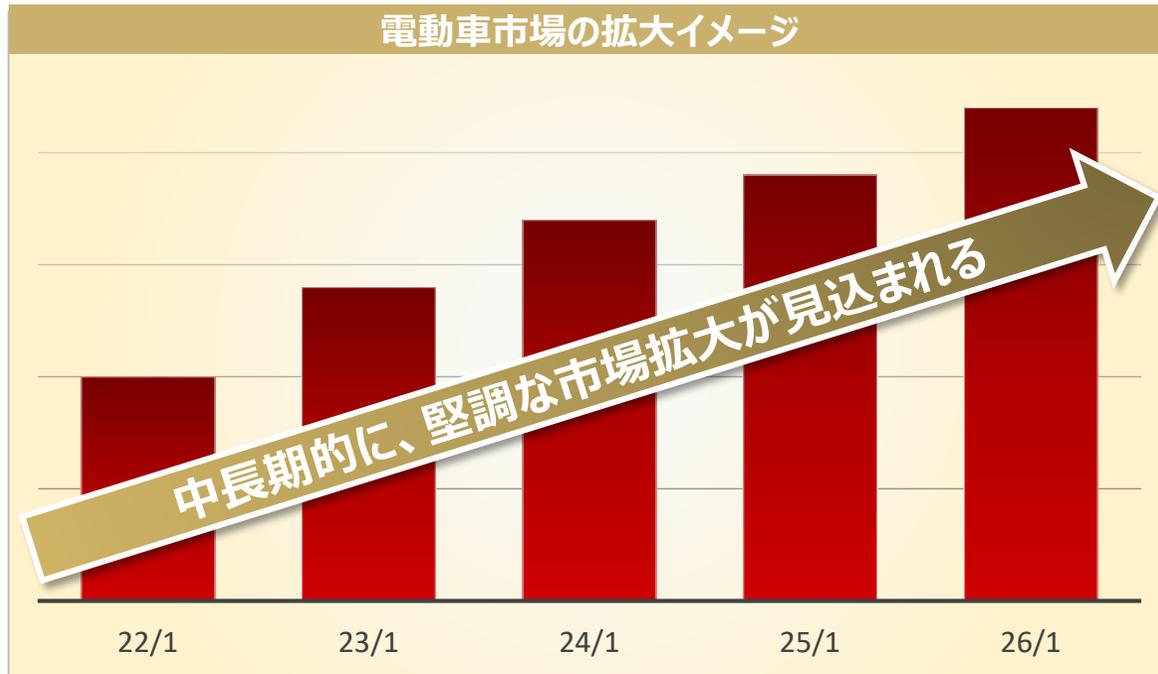
基盤事業

同2事業は、外販を行なうと共に、電機部品・電子部品2事業の成長性と収益性の最大化を支える基盤事業と位置づけ、技術の高度化を重視した戦略を推進

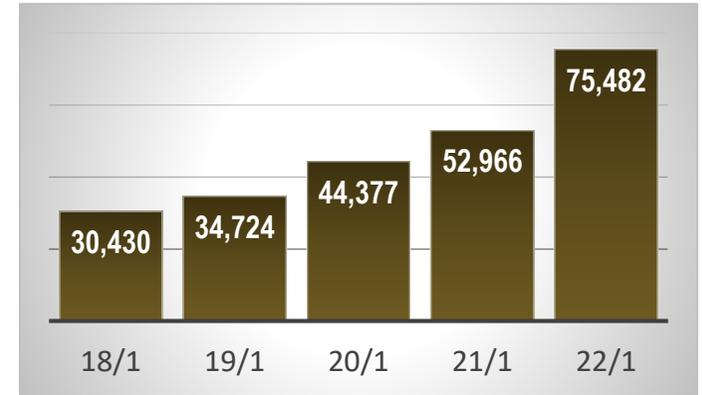
【事業方針1】電機部品事業の戦略

事業の位置づけ
拡大成長事業

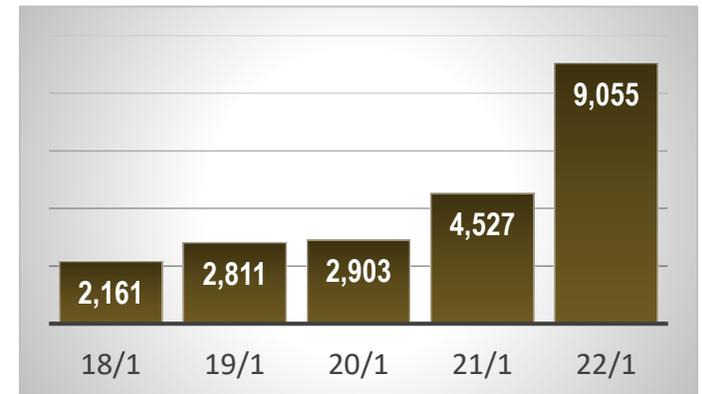
自動車電動化需要の拡大に対応し、4極生産体制による事業拡大を推し進め、収益拡大を図る



■ 同事業の売上高の推移 (百万円)



■ 同事業の営業利益の推移 (百万円)



主な施策

▶ 高品質かつ同一品質で世界中のお客様へ安定供給を行う

事業の位置づけ

安定成長事業

半導体市場における成長分野にターゲットをフォーカスし、生産性向上により収益拡大を図る

半導体市場における主な成長分野

【半導体を取り巻く事業環境】

あらゆる産業でICT関連投資が拡大

半導体用途・需要の拡大

情報通信機器
・5G関連向け

車載向け

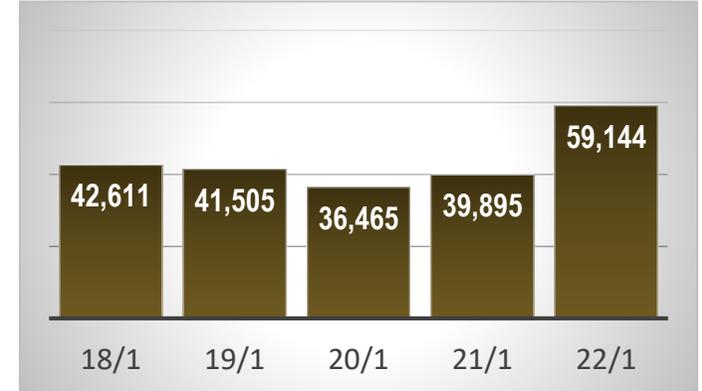
新たなデジタル
インフラ向け

●●●
など

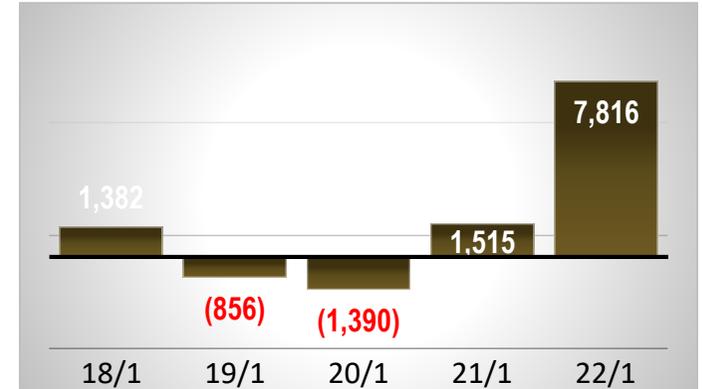
主な施策

- ▶ 高品質・高生産性による競争力優位の確立
- ▶ グローバル展開を活かした強固な供給網による顧客ニーズ対応

■ 同事業の売上高の推移 (百万円)



■ 同事業の営業利益の推移 (百万円)



【事業方針3】 金型事業と工作機械事業の戦略

事業の位置づけ **基盤事業**

- 重点事業の成長性と収益性の最大化を支える
- 外販よりも、技術の高度化を重視した戦略を推進

精密加工に必要不可欠な工作機械の高度化

超精密金型の製造

～ 技術の蓄積 + 生産能力の増強 ～

モーターコア用打抜き金型

ICリードフレーム用打抜き金型

【拡大成長事業】
電機部品事業

【安定成長事業】
電子部品事業

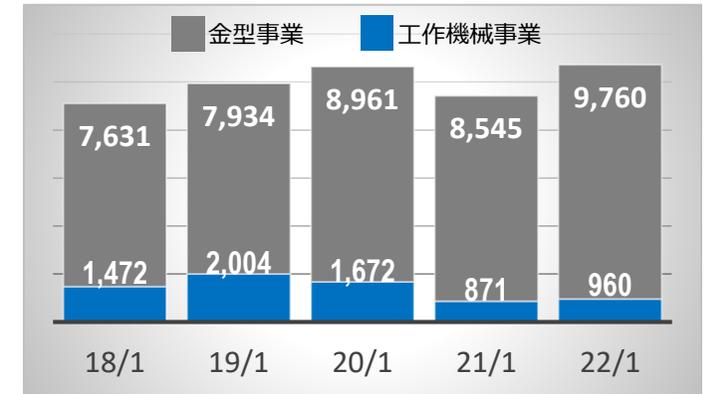
金型事業の主な施策

- ▶ 豊富な金型技術者と三井独自の金型技術によって高品質の実現と生産性の高い金型づくり

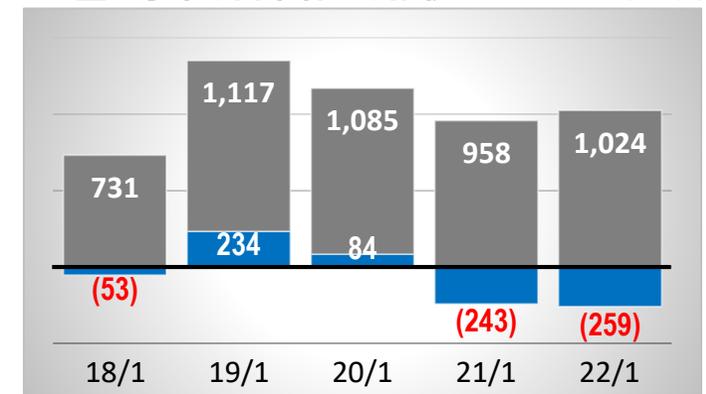
工作機械事業の主な施策

- ▶ 超精密加工分野における省人化/無人化を推進する機種の開発
- ▶ 平面研削加工に捉われない研削加工機の開発と提案

■ 基盤2事業の売上高の推移 (百万円)



■ 基盤2事業の営業利益の推移 (百万円)



【売上高、営業利益目標】

(百万円)

	2022/1 実績	2025/1 目標	2022/1比 増減率
売上高	139,429	230,000	65.0%
営業利益	14,959	30,000	100.5%
売上高営業利益率	10.7%	13.0%	+ 2.3 pts

【3カ年設備投資】

680億円

- ① 世界4極の顧客需要動向に応じた生産能力向上を図る
- ② 今後の大きな成長分野である電機部品事業と電子部品事業を中心に投資を継続

当期連結業績予想

(百万円)

	2022/1	2023/1	増減	増減率
売上高	139,429	182,000	+42,570	+30.5%
営業利益	14,959	20,400	+5,440	+36.4%
営業利益率	10.7%	11.2%	+0.5pts	
経常利益	15,672	20,500	+4,827	+30.8%
当期純利益	11,778	15,000	+3,221	+27.3%
当期純利益率	8.4%	8.2%	△0.2pts	
減価償却費	8,603	11,000	+2,396	+27.9%
EBITDA	23,563	31,400	+7,836	+33.3%
期中平均レート	米ドル	110.73	110.00円	

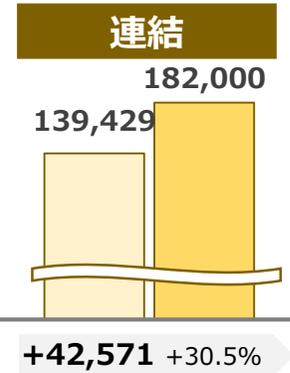
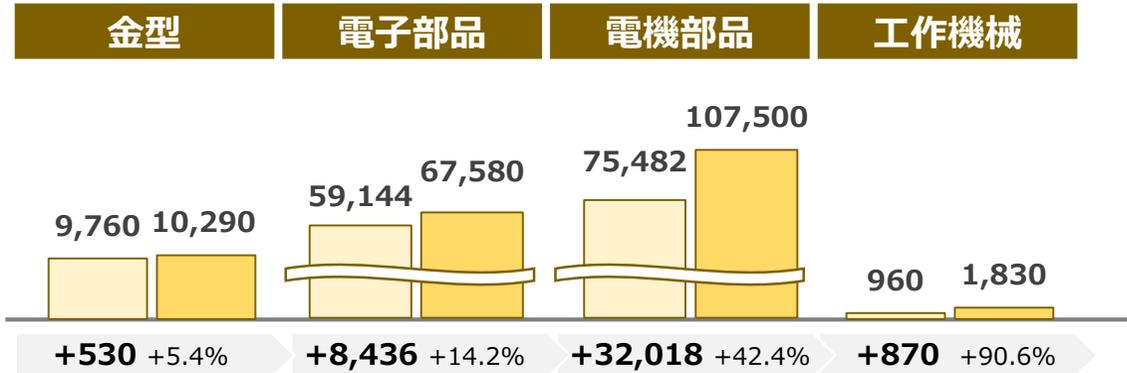
- ▶【電機部品事業】 電動車向け駆動・発電用モーターコアの需要が拡大
- ▶【電子部品事業】 車載向け半導体をはじめ、各種半導体の好調な需要が継続
- ▶【金型事業】 電機部品事業、電子部品事業の需要に対応
- ▶【工作機械事業】 自動化・省人化需要による新たな受注確保に対応

当期連結業績予想

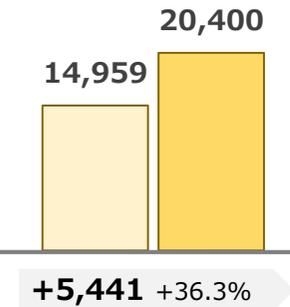
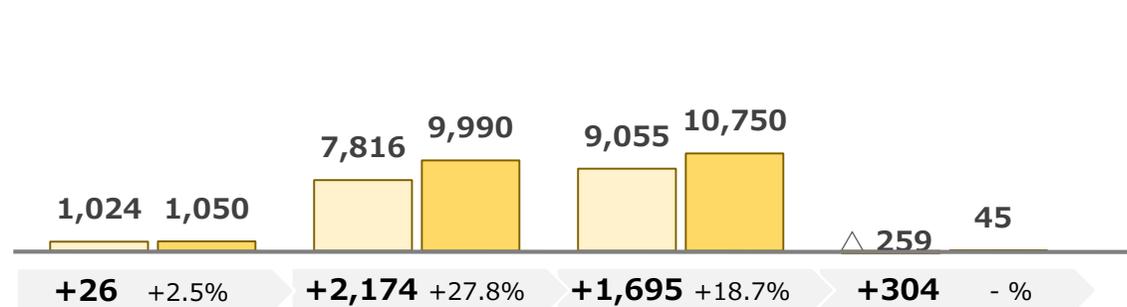
'2022/1 '2023/1

(百万円)

売上高



営業利益

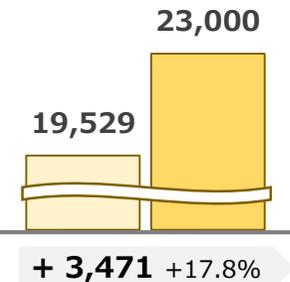
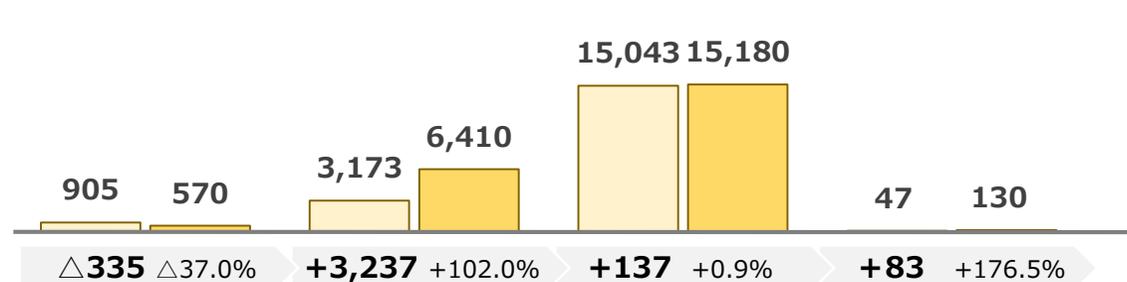


営業利益率

10.5% 10.2% 13.2% 14.8% 12.0% 10.0% △27.1% 2.5%

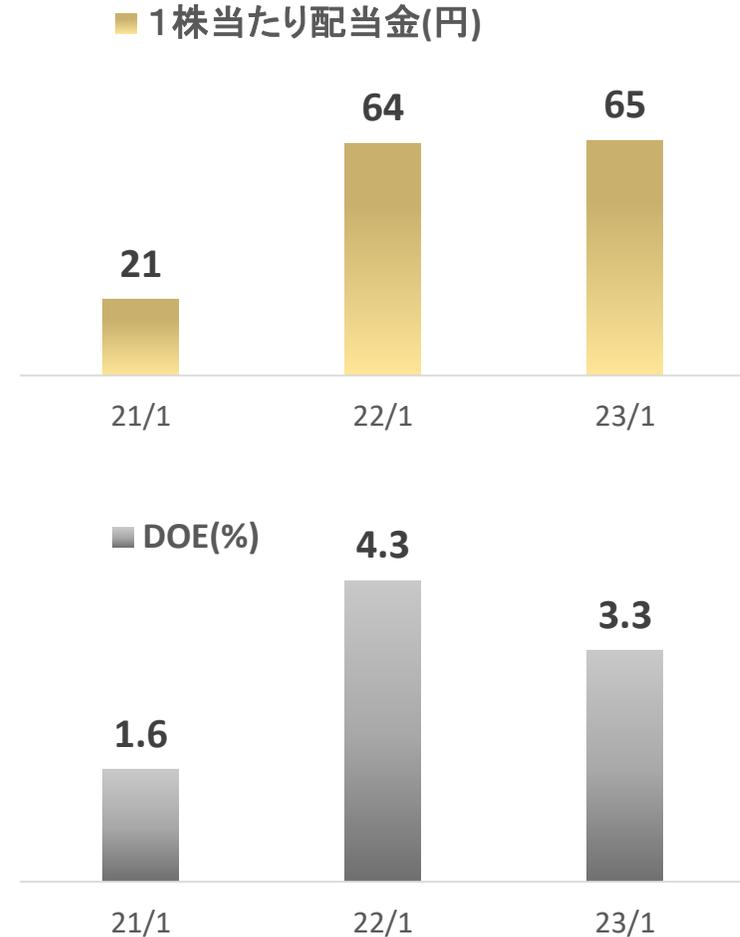
10.7% 11.2%

設備投資



【株主還元方針】

- 2023年1月期から2025年1月期の3か年は、競争力強化と成長機会獲得に向けた投資拡大と安定的・継続的な増配を総合的に勘案
- 配当性向は単年度利益により大きく変動することから、当新中期経営計画の3か年では、資本に対する配当の継続的安定性を測定できるDOE（株主資本配当率）を用いる
- DOEは3.0%以上を目安とし、2023年1月期は1株当たり配当金は65円の見通し



当社グループの最重要課題

事業活動を通じた持続可能な社会の実現

環境に配慮した継続的な取り組み

- 環境にやさしい電動車への部品供給
- 環境負荷を低減する製品の開発
- 生産時のCO2排出量・資源使用量の削減
- 廃棄物の抑制
- リサイクルの推進 など

すべてのステークホルダーに責任を果たす活動

- 株主、投資家とのIRを通じた長期的信頼関係の構築
- 地域コミュニティへの参加
- ダイバーシティ&インクルージョンの推進
- 顧客の期待を超える技術・品質・サービスの提供
- 取引先と共に成長できる持続可能な関係の構築 など

【サステナビリティ・ガバナンス強化策として】2022年「サステナビリティ推進部」新設

今後の事業活動において、サステナビリティの推進を強化する方針